



★被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】は注文番号**500253** 1口500円にて毎週受け付けています。
★関東子ども健康調査支援基金【寄付】 注文番号:**500252** 1口1000円～ にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
★東海第二原発差止訴訟基金【寄付】 注文番号:**500251** 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。
★JOSO脱プラ基金は注文番号:**500254** 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。

2022-23年度活動テーマ「つくと食べるでつながろう ～私たちの地産地消～」

2024年度に向けて

春の組合員討議資料 アンケート実施中！

先週(3月4日の週)、理事会から討議資料アンケートを、お届けしています。ご意見をお願い致します。

※食生活点検はご自身とご家族の1年間の振り返りにご活用ください。

■2024年 常総生協第51回通常総代会 開催要項

日時: 6月15日(土) 10:00～12:00

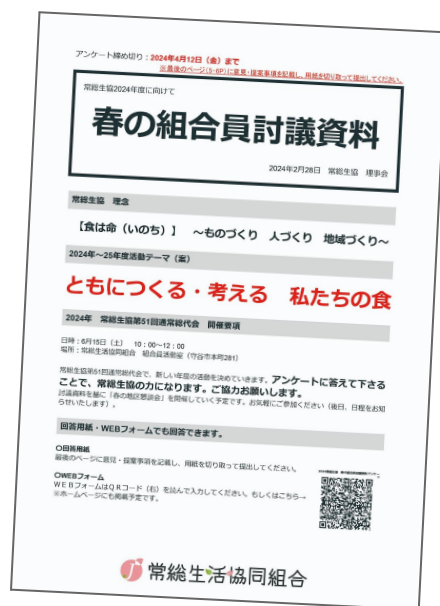
場所: 常総生協本部 組合員活動室(守谷市本町281)

■総代会とは

年1回開催される協同組合の総会(組合員代表による総代会)で、組合の最高議決機関です。昨年の活動のまとめや事業の決算を報告し、次年度の活動方針や事業予算を検討し、決定する場です。

■春の組合員討議資料アンケートの目的

「春の組合員討議資料アンケート」を基に、地区別懇談会を開催します。皆さんのご意見を踏まえて総代会へ提案致します。



2024年3月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●	○提携・協同・連帯企画●
○「常総っ子応援団」ゴンタで遊ぼうin流星台プレイパーク ※毎週木曜日に外遊び活動をしています！ ・3/16(土)歴史講座、鈴木牧場見学会 ・3/19(火)出張みそ講習会 ・3/27(水)定例理事会	・3/20(水)さようなら原発全国集会 ・3/21(木)茨城県生協連 理事会 ・3/23(土)、24(日)関西よつ葉交流会

「ガザに平和を！」人権セミナー フォトジャーナリスト安田菜津紀講演会 紛争地、被災地に生きる人々の声 ～取材から見てきたこと～

組合員さんが実行委員会に入って運営している講演会のお知らせです。

フォトジャーナリストで、認定NPO法人Dialogue for People（ダイアログフォーピープル）副代表の安田菜津紀さんが「紛争地、被災地に生きる人々の声～取材から見てきたこと」と題して講演します。

イスラエルの侵攻が続くパレスチナ・ガザ地区や、戦争が長らく続いてきたシリアでは、多くの人々が避難生活を続けています。果たしてそれは海の向こうの、自分たちとは遠い問題なのでしょうか？東日本大震災で被災地となった岩手県陸前高田市で出会った人々の行動が、シリアと日本をつなげてくれたことがあります。取材で撮影した写真と共に、私たちに今、何ができるのか、そしてどんな未来を選んでいきたいのかを考えていきたいと思います。

東日本大震災で被災地となった岩手県陸前高田市で出会った人々の行動が、シリアと日本をつなげてくれたことがあります。

取材で撮影した写真と共に、私たちに今、何ができるのか、どんな未来を選んでいきたいのかを考えるキッカケになる講演会です。

ご都合が合う方は是非、ご参加下さい。

- 日時：2024年3月30日(土) PM1:30 – 3:30（開場：PM1:00）
- 場所：クラフトシビックホール土浦（旧土浦市民会館）
茨城県土浦市東真鍋町 2-6
- 参加費：前売り1000円 当日1200円
- お問い合わせ：
 - 安田菜津紀講演会実行委員会（代表・尾池誠司弁護士）
 - 090-1118-6274（井橋さん） メール：sayamaibaraki@gmail.com

ガザに平和を！

人権セミナー
安田菜津紀講演会

認定NPO法人 Dialogue for People 副代表／
フォトジャーナリスト

講師 安田 菜津紀

「紛争地、被災地に生きる人々の声～
取材から見てきたこと～」

イスラエルの侵攻が続くパレスチナ・ガザ地区や、戦争が長らく続いてきたシリアでは、多くの人々が避難生活を続けています。果たしてそれは、海の向こうの、自分たちとは遠い問題なのでしょうか？東日本大震災で被災地となった岩手県陸前高田市で出会った人々の行動が、シリアと日本をつなげてくれたことがあります。取材で撮影した写真と共に、私たちに今、何ができるのか、そしてどんな未来を選んでいきたいのかを考えていきたいと思います。

3月30日(土) 午後1時半開演
1時開場

会場 **クラフトシビックホール土浦**
(旧土浦市民会館 土浦市東真鍋町2-6)

参加費 前売券 1000 円 (当日 1200 円)
※障がい者介助者、18歳以下無料

<チケット・連絡先> 狭山事件と人権を考える
茨城の会 sayamaibaraki@gmail.com
井橋昌夫 (090-1118-6274) ※会場でも販売中

安田菜津紀講演会実行委員会 (代表：尾池誠司 弁護士)

後援 茨城県、茨城県教育委員会、土浦市、土浦市教育委員会、茨城県ユニセフ協会、朝日新聞水戸総局、読売新聞水戸支局、毎日新聞水戸支局、東京新聞水戸支局



1987 年神奈川県生まれ。認定 NPO 法人 Dialogue for People (ダイアログフォーピープル/D4P) フォトジャーナリスト。同団体の副代表。16 歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。現在、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。著書に『国籍と遺書、兄への手紙 ルーツを巡る旅の先に』（ハウレーカ）、他。上智大学卒。現在、TBS テレビ『サンデーモーニング』にコメンテーターとして出演中。

組合員と生産者と職員の広場

3月1回のNewsLetterで、3.11東日本大震災で被災した高橋徳治商店の高橋英雄社長の想いのこもったメッセージを4ページにわたって掲載しました。組合員・職員からその感想が届きましたのでご紹介します。

〇薄れかけた記憶に喝が

高橋さんのお話は薄れかけていた記憶に喝を入れて下さりありがとうございます。2011年は母が亡くなった年でもあるので、絶対忘れまいと思っていましたが、日々の暮らしに埋没してしまっているようです。これからも紆余曲折であろう高橋徳治商店さんが長く続きますように願っております。
(取手市Sさん)

〇社長さんの思い、すばらしい

高橋英雄社長さんの思い、すばらしいですね。じっくりと読ませていただきました。ありがとうございます。
(取手市Tさん)

〇大切なものを学ばせていただきました

高橋徳治さんからのメッセージを拝読しました。大変なご苦勞を抱えながらまわりの皆さんへの思いやりを忘れずに日々努力される生き方に、大切なものを学ばせていただきました。元ひきこもりの皆さんの働く場も保証する実行力。皆さんを笑顔にさせて偉大な社長さんです。(坂東市Yさん)

〇「すごい」としか表現できない

すごい。「すごい」としか表現できない自分の語彙力が恥ずかしいです。重厚な文章に息をのみました。この13年の社長の想像を絶するご経験と、深いお考え、感情の吐露、投げかけを正面から受け止めて、自分なりの考えをちゃんと返さないと、バチが当たると思いました。

このような生産者の言葉を聞けることに感謝です。生協への投げかけでもあるので、組合員からも、生協としても反応をお返ししてほしいと思いました。

特に心に残ったのは

「無謀かもしれない、
それ以上に夢中」
「既成概念は当社では
壊す対象」
、、、しびれました。

「何が幸せで真の満足なのか」

「自分は弱者なんだと
まずしっかり認識して
いくことから始めたい」
、働くことは生きること。
生き方は働き方。
食べることも買うことも支
え合うことも生き方だと思
いました。

「こと」を「もの」で消費すること..
その深い意味と、生協職員としてで
きる可能性を考えていきたいです。
(職員 木本さゆり)



3月1回 NewsLetter(pdf)は
常総生協ホームページから
ご覧になれます(約10MB)

QRコードはこちら ↓



能登半島地震 被災地支援について

●「JOSOたすけあい基金」へのご協力に感謝申し上げます

元旦に発生した能登半島地震から2か月が過ぎました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。この間の呼びかけで集まりました「JOSOたすけあい基金」は、**150万円程**になりました。たくさんのご支援、感謝申し上げます。現在、支援候補先との結めの協議に入っておりますが、「基金」は今後もいざという時の災害支援などを目的に継続して募っています。ご協力の程よろしく願い申し上げます。

OCR番号【500253】「JOSOたすけあい基金」 ※1口500円で毎週受付中です。

●3/14-15 能登へ支援物資(加工業再開のための機材・包材など)の搬送に向かいます
常総組合員にも愛用者の多い「うれしいぬか床」。このぬか床に使われているのが輪島の塩です。

塩の生産者・橋本三奈子さんは、輪島朝市通りに自宅兼出荷事務所がありましたが全焼。製塩工房は奇跡的に残り、現在試験製造中です。

震災前、橋本さんは「輪島の朝市」にも出店し、地域の方たち(多くは高齢女性)と切り盛りしていました。

輪島市内での朝市は現在開催が困難ですが、金沢市内に二次避難しているかつての朝市メンバーと共に「出張朝市」を金沢市内で計画中です。

その出張朝市の軒先に出すために、3/5から干物など簡単な加工品を製造再開。他方で、包材などは消失。そこで、この間「常総生協いのち育む生産者の会」に集う生産者各位から、**利用していない在庫包材や器具**を公募していました。

第一次集約として、段ボール約30箱分の包材と、電子はかりなどをご提供頂きましたので、3/14-15で現地に搬送する予定です。現地の様子等は後日ご報告いたします。

4月1回から【6番】宇治田さんの平飼い卵 【7番】八郷の卵 値上げにあたり 生産者からのお手紙です

「宇治田さんの平飼い卵」生産者 宇治田さんより

いつも有難うございます。
さて大変心苦しいのですがたまごの値上げ
のお願いです。



昨年値上げをお願いしましたが、その後も
種々諸経費の値上がりが続いています。ま
た雛（ひな）代が今回びっくりするほど上
がりました。餌の値上げも止まらず、餌の
ベースとなる小麦も毎年上がり続けていますが、特に魚粉の値上げ
が止まりません。

宇治田農場で使っている魚粉は、北洋産の白身魚を使った最高級と
言われる魚粉で、他の同業者に「こんなすごいものを使っているの
か」と驚かれることもあります。たまごの品質を落とさないた
め、また雛の生育を間違いないものとするため、長年これを使い続
けていて、手に入る限りこの魚粉にこだわって使い続けるつもりで
す。

わが家で当初から続けている鶏の飼いは、草の大量給餌を主体に
した養鶏方法で、とても手間がかかるため他ではあまりみられませ
んが、これが最良の飼い方だと思って40年以上続けています。
雛のうちはできるだけ硬い草に慣れさせ、内臓を鍛えながら徐々に
草の食べる量を増やしていき、成鶏になった時には牛のようにたっ
ぷり食べる、そんな育て方をしています。

成鶏（卵を産む鶏）に対しては、鶏の状態、部屋ごとの雰囲気（飢
えているか、あるいは残しているか）を見て、毎日餌と草の量を決
めています。餌が残るようではたまごが大きくなってしまいまし
すし、草が残るようでは鶏は飽きてしまいます。一回空腹、一回満腹
のリズムを維持することが大切です。

薬・抗生物質などは一切使っていませんが、鶏達は風を受け、太陽
の光を浴びてとても健康に育っています。

草を食べたあと尻尾の羽を左右にふりふりさせて歩いていく姿を見
て、「満足してるなー」と感じ、こちらも充実感を感じます。
今後とも努力していく所存です。よろしくお願い致します。

宇治田

「八郷の卵」生産者 やさと農協・産直課 渡辺さんより



日頃より大変お世話になっており
ます。

終わりの見えないロシア・ウク
ライナ戦争や、日米の金融政策の違
いによる急激な円安、さらには温
暖化などによるアメリカ産とうも
ろこしの生産量の減少、中国の輸
入数最増加等々、卵を取り巻く環
境が激変しております。

私たちの産地で使用する飼料原料
は、こだわりの1つとして生産分別
流通管理済み（遺伝子組み換えで
ない）原料を使用することから、
一般飼料価格よりも高い「プレミ
アム」扱いとなり、とても高騰し
ております。

更に、飼料原料だけでなく必要資
材、電力、燃料、人件費なども上
昇しています。生産者と共に鶏卵
センターと致しましても経営効率
化を図り、経費節減等の取り組み
で努力して参りましたが、今以上
のコスト削減と吸収は困難な状況
にあります。

誠に心苦しく思いますが値上げを
お願いする次第でございます。今
後ともどうぞよろしくお願い致し
ます。

（やさと農協産直課 渡辺泰之）

■安定した飼料供給に向けて努力する常総の鶏卵生産者

- ・多くの国内養鶏生産者は、消費者が求める「安い卵」を生産するために、割安な海外飼料
を使用してきました。
- ・しかし、この間の円安、また温暖化等による飼料用穀物減産の影響で相場高に。
その影響で国産飼料の引き合いが強くなり国産も高騰。そして、また安くなれば海外産に・・・。
- ・この様な「いたちごっこ」にできるだけ巻き込まれることが無い様に、常総に集う生産者はこの間相対的
に高値であっても、可能な限り国産・地域自給飼料（地場産くず大豆、くず小麦、飼料米）を与えて健康
に育て、組合員も利用して支えてきました。
- ・基礎的な食品のため、購入しやすい価格設定を心掛けておりますが、将来に亘り生産者が明確で、安全な
卵を食べるために、ご理解の程どうぞ宜しくお願い致します。



（鶏卵担当：柿崎）